

# なとり市議会だより

2020.5.1 No.170 令和2年2月定例会の内容をわかりやすくお伝えします。



## CONTENTS

- 新たな顔ぶれの21人です…………… 表紙
- 議員が聞いたこんなこと…………… P 2
- 税金の使い道をチェックしました…………… P10
- N-WATCH(エヌ・ウオッチ)…………… P16
-

# 議員が聞いた

## こんなこと

# 一般質問

### 一般質問とは

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。2月定例会では、10人の議員から24項目の質問がありました。

一般質問を含めた本会議の内容は、録画でも配信しています。市ホームページの「議会中継」からご覧ください。



### 政策

職員採用試験案内のデザインは慎重に検討すべき



吉田 良

**Q** 市長就任後3年間、職員採用試験の受験案内ポスターに市長本人が写る写真が使用されてきた。そのようなデザインとした理由は。

**A** 風通しのよい職場づくりの一環として、職場の雰囲気や伝わるよう、市長である私と若手職員がモデルとなって作成している。

**Q** 市ホームページの「先輩職員からのメッセージ」は、平成29年6月5日を最後に一度も更新されていない。フレッシュな若手職員の活躍こそ、もっとPRすべき。

**A** 詳細は把握していないが、手法について考えたい。

**Q** 令和2年7月に市長選挙が行われる。受験案内ポスターに市長が写り込めば、選挙ポスターと同時に市内各所に掲示され、選挙の公平性を著しく損なうことになる。令和2年度のデザインは慎重に検討すべき。

**A** 市長選挙が行われる・行われないにかかわらず、創

意工夫して作成したい。

**Q** 大阪市は条例で、任期満了の日の3カ月前から、広報活動において市長等の写真などをを用いることを禁止している。本市でも行政運営において組織的に政治的活動を行っているとの疑いを市民に与えることがないよう、このような条例の整備を進めるべき。

**A** 市長は市を代表する「ま

ちの顔」である。シティープロモーションにおいては、むしろ市長が前面に出て進すべき側面もある。

### 質問した内容

- 1 職員採用試験
- 2 愛島台の土地活用に係る包括協定



選挙

## 投票所への送迎バスを 運行すべき



菊地 忍

Q 1月26日執行の市議会議員選挙では投票率の低下に歯どめがかからなかった。開票確定時間もおくれたがどのように評価しているか。

A 広報なとり、ホームページ等での周知のほか、啓発グッズを配布するなど投票の呼びかけを行った。過去最低の投票率となったことは残念であり、真摯に受けとめている。

Q 開票確定時間のおくれは、選挙立会人の入念な点検が要因と捉えている。

A 地域によっては投票所が遠く、歩いては行けないことも投票率低下の要因である。投票所への送迎バスを運行すべき。

Q 送迎バス運行の対象となる地域の選定など課題もあり、他自治体の取り組みも参考に今後研究したい。

A 送迎を外部に委託するのではなく、公用車による巡回バスの実施など、今までにない取り組みが必要と考

えるかどうか。

A 高齢化の進行により大変重要な課題である。調査研究したい。

Q 期日前投票所を市役所から名取駅コミュニティプラザに変更すべき。

A 期日前投票所を名取駅に設けることは、通勤・通学やバスの乗りかえをする選挙人にはとても利便性が高いものと捉えている。

一方、市役所に用事があるりその足で投票をする方もいることから、変更するのは難しいと考えている。

### 質問した内容

- 1 選挙事務と投票率向上に向けた取り組み
- 2 動物愛護管理法改正



農業

## 地域農業活性化のため、地産地消を積極的に推進すべき



千葉 栄幸

Q 日本は世界最大の食料輸入国であり、食料自給率が37%まで落ち込んでいる。輸入依存の現状を忘れず、市民の食料確保、食の安全安心を確保するため、市民に対し地域農業の大切さを広く啓発し、地産地消を積極的に推進すべき。

A 地産地消の推進については、市及びJA名取岩沼を初め、関係団体により構成する名取市地域農産物等消費拡大推進協議会において、親子農業体験講座の開催や名取産農産物料理講習会への補助を行っている。また、令和元年度の新たな試みとして、市役所を会場に「いろどりなとり 産直マーケット」を定期開催している。今後、関係団体とともに、品質が高く、安全、安心な地元農産物の消費拡大に取り組んでいく。

Q 道の駅設置を検討すべき。

A 道の駅整備に係る国の交付金には、社会資本整備総合交付金や農山漁村振興交付金がある。本市は、市内のスーパーマーケットなどで地元農産物コーナーが設置され、産地直送の新鮮な農産物を消費者に届けることができる環境が整っている。現在、道の駅設置の考えはないが、農業者や関係団体等の意見を伺いながら、地域農業活性化並びに名取の魅力発信に向けた施策に引き続き取り組んでいく。

### 質問した内容

- 1 農業振興
- 2 学校給食費等の徴収
- 3 スポーツ振興

Q 地域農業活性化並びに名取の魅力発信施策として、道の交付金を活用し、道の

魅力発信施策として、道の交付金を活用し、道の



防災

館腰地区の水害対策を進めるべき



齋 浩美

Q 館腰地区内を走る、旧来の細い雨水排水路の詳細な調査と改良に優先的に取り組むべき。

A 平成25年度に排水路及び側溝、暗渠について調査し、現況排水路の流下機能の診断と評価を行った。

Q 「名取市雨水対策基本計画（既成市街地）」の中で、小規模管路対策と位置づけ、現況浸水シミュレーションにより溢水想定箇所を把握し、浸水想定が深い箇所から対策をする。

A 東北本線と仙台バイパスを横断する水路に土砂が堆積している。関係機関に対して土砂の撤去と水路の拡幅・改良を要望し、今後の水害に備えるべき。

A 川内沢川から志賀沢川までの区間は、上流側の東北本線の横断水路から、市が管理する公共物水路を経由し、下流側の仙台バイパスの横断水路に入っている。

- 質問した内容
- 1 投票率の向上に向けて
  - 2 仙台空港の運用時間延長問題への対応
  - 3 タイ王国からの観光客増加への対応
  - 4 館腰地区の水害対策

以前より、各管理者が現地調査等で、土砂堆積の著しい箇所は撤去は行っていたが、今後は地元の要望も反映し、撤去を要望する。横断水路の拡幅・改良は、既にJRと本市で協議の上、東北本線の水路の一部を統廃合し、改良を行っている。関係機関にも水路の土砂撤去を要望し、本市でも土砂の撤去をする。大雨時の排水状況を確認した後で、水路の拡幅・改良または新設の要望を検討する。

防災

美田園地区の冠水被害対策に取り組むべき



菅原 和子

Q 近年、頻発する台風やゲリラ豪雨は予想をはるかに超え、毎年のように自然災害が発生している。令和元年10月の台風第19号では本市の降水量は357ミリに達し、7地区24カ所で冠水被害が発生した。美田園地区においても40センチの冠水が発生し、自家用車が水没した方もいる。美田園地区はこれまでも大雨のたびに冠水被害が発生しており地域住民の方から「安心して生活できる状況ではない」との声が上がっている。

A 調整池の拡張や増設など、被害を未然に防ぐための対策は検討されているのか。

A 美田園地区の冠水被害については、これまで台風などの大雨により調整池周辺で4回の冠水被害が生じるなど、地区住民の方々には御不便をおかけしている。冠水対策の取り組みとして令和元年度に美田園調整池に「土のうステーション」

を1基設置し、「なとりマップ」へ掲載した。また、ハード対策については冠水発生の要因及び基本的な対応策を検討するため業務委託を行い、調整池を掘り下げ方法、調整池を広げる方法、ポンプ能力を増強する方法などを検討した。

雨水対策事業には多額の事業費が必要になることから、事業の費用対効果や事業費の確保に向け、現在国及び県の指導を受けているところである。

- 質問した内容
- 1 市民の健康を守る取り組み
  - 2 防災、減災の取り組み



策

死亡・相続ワンストップサービス  
の実現に取り組むべき



小野寺 美穂

**Q** 市民の死亡に伴う手続きにかかる時間・日数等をどう捉えているのか。

**A** 御遺族宛てに「死亡に伴う手続きのご案内」の冊子を配布し、担当部署の窓口で対応している。

書類が整っていれば、5分から10分程度、かかっても30分程度である。複数の手続きであっても半日を超えるものではない。

**Q** 名義変更なども含めたさまざまな手続きに、かなりの時間と労力を要する。内閣官房―IT総合戦略室において、デジタル・ガバメント実行計画が策定され、手続きに関するワンストップ化の実現に向けた方策の取りまとめがなされている。死亡・相続ワンストップサービスの実現に取り組むべき。

**A** 一つの窓口で申請や手続きが可能というメリットはあるが、個別に担当部署が対応せざるを得ない場合もある。他の手続と同様に、専

門的な説明ができる現在の対応を継続したい。

**Q** この計画には、サービス設計12箇条が示されている。利用者のニーズから出発する、利用者の日常体験に溶け込むなど、このような視点が重要である。国民健康保険証など市役所に返納するものもある。御遺族の負担を軽くすべき。

**A** サービス設計12箇条については参考にした。返納については、支障がなければ、まとめて行うなどの検討の余地はある。

- 質問した内容
- 1 行政事務手続
  - 2 生活再建支援の取り組み

教育

スクールバスの安全運行強化  
を図るべき



大久保 主計

**Q** スクールバスコース逸脱について、その原因と対応課題をどのように捉えたか。

**A** 運転手が体調不良となり、そのまま運転を続け、緊急時の対応が行われなかったことが原因である。バスに

乗車した児童には心のケアとカウンセリングを行った。また、保護者等を対象に説明会を開催し、バス運行事業者には事故防止と安全運行の徹底を指示し、実地訓練を行った。バス会社での

**Q** 児童への心のケアが重要である。保護者も含めたその後のフォロー、家庭との連絡等の取り組みは。

**A** 家庭から学校に対して相談があれば、いつでも対応すること、専門カウンセラーにつなぐことも視野に入れ、児童の様子を十分に見守っていききたい。

**Q** 国土交通省が示す運輸安全マネジメント制度や、公益社団法人日本バス協会の貸切バス事業者安全性評価認定制度などを参考にすればか、ドライブレコーダ、GPS位置管理システムとIP無線機などの機器の使用を仕様書に入れるべき。また、専門的な第三者の意見も聞いて、スクールバスの安全運行強化に取り組んで

**A** 提案の内容も含めマニュアルの整備、仕様書等の見直しを検討していく。

- 質問した内容
- 1 スクールバスの安全運行
  - 2 持続可能な自治体運営
  - 3 子供、若年者、高齢者等に係る貧困対策

教育  
各学校の施設老築化に  
対する取り組みは



荒川 洋平

**Q** 本市が抱える教育現場の課題は。

**A** 登下校時の児童生徒の安全確保、校舎や体育館等の施設の老築化、新学習指導要領のもとでの確かな学力向上、不登校児童生徒への対応など多岐にわたる。

**Q** 名取第二中学校では、自転車置き場、体育館など、老築化が進んでいる。このような各学校の施設老築化に対する取り組みは。

**A** 学校から要望を聞き、児童生徒の安全確保や学習活動に直結したものの、緊急性の高いものを優先に学習環境の整備改善に努めている。

**Q** 現在、増田中学校で大規模改修が行われている。令和3年度からは名取第一中学校でも予定されているが、その後の計画は。

**A** 令和2年度で学校施設長寿命化計画を策定していく。学校給食費の無償化による効果とは。

**A** 子育て世代の経済的負担の軽減、「子育て・教育先進都市」の実現につながるものと考えている。

**Q** 段階的な学校給食費無償化の課題と今後の予定は。

**A** 充た可能な財源の確保である。次の段階に進むに当たり新たに安定的な財源を確保する必要がある。今後については未定である。

**Q** 見通しが甘いのではないのか。現在のどのくらいの財源が確保できているのか。

**A** 中学1年生から3年生までを無償化できるくらいは確保できている。

質問した内容  
1 市長のこれまでの市政運営  
2 などの教育

安全  
県道39号線の交通量増大に対し、安全確保等の対策を



菊地 昌夫

**Q** 愛鳥地区の代表者より県道39号線（仙台岩沼線）の交通量増大に関して陳情書が提出されているとおり、道路の拡幅等の対策が必要と考えるがどうか。

**A** 宮城県として実施する県道39号線の交通量や渋滞状況の調査の結果を踏まえ、県に對し要望についての働きかけを行っていく。

また、市道愛鳥東部線と市道道祖神愛鳥台線が交差する地点は、県道の頂上付近に向かうカーブの途中にあり見通しが悪い。将来、市道愛鳥東部線の整備時期に合わせ、改良を図る方向で県との共通認識を得ているところである。

であるが、児童の安全確保のため、現在は交差点部のみを設置されているガードパイプを歩道部にも増設すべきと考えるがどうか。

**A** 市道潜穴線については、歩車道境界ブロックにより歩車分離が図られているが、さらなる安全対策として通行車両に減速を促す路面標示を設置する。

愛鳥地区以外の通学路の状況も踏まえ、優先順位が高いと判断できる通学路から、順次ガードパイプの設置を考えていきたい。

質問した内容  
1 県道39号線（主要地方道仙台岩沼線）の交通量増大  
2 公衆トイレの管理  
3 復興事業の今後の取り組み

**Q** 県道39号線に交差する市道潜穴線は、愛鳥郷や愛の杜方面からの通学路となっており、毎朝500名を超える児童が通行している。同じ時間帯に県道39号線を通過する車両は1時間に約1400台に達する状況





子ども医療費助成を  
18歳まで拡充すべき



波 森 直 希

**Q** 県内の他自治体では、子ども医療費助成の拡充が進んでいる。本市の考えは。

**A** 県内の各自治体で、対象年齢や所得制限のあり・なしなどの差があることは承知している。子ども医療費助成は重要な子育て支援策の一つであり、自治体間の差が早期に解消されるよう、今後も継続して国・県に制度の拡充を求めていく。また、県内の他自治体の取り組み状況等を確認したい。

**Q** 貧困世帯がふえているが、助成の対象から外れる15歳から18歳までの子供が、医療機関を受診できない現状を把握しているか。

**A** 医療機関の受診を断念しななければならないという相談はない。子供に限らず生活困窮により、必要な医療を受けられないと相談があった場合は、関係機関と連携して必要な支援を行う。

**Q** 所得制限と初診料算定時の5000円の一部負担金を

撤廃すべき。

**A** 所得制限と一部負担金については、組み合わせや効果を検討し、他の子育て支援策も含めて総合的に勘案しなければならず、調査研究していく。

**Q** さらに子育て支援のため、子ども医療費の助成を18歳まで拡充すべき。

**A** 検討すべき課題と捉えているが、平成29年10月より通院の助成対象年齢を中学3年生まで拡充したところであり、今後も引き続き調査研究していく。

質問した内容  
1 子ども医療費助成の拡充

議員協議会

議員協議会 (3月19日)

第六次名取市行財政改革大綱(案)について

令和2年度から令和6年度までの5年間で計画期間として取り組む第六次名取市行財政改革大綱(案)について説明がありました。

地方分権の進展や多様化する市民ニーズ、情報技術の発展といった時代の潮流に即して、連携と協働による地域経営の推進や、AIなどの新たな技術や民間活力を活用した効率的な行政

経営の推進、職員の人材育成を初めとした戦略的な行政経営の推進、将来にわたって発展を遂げるための持続可能な財政基盤の確立といった改革の柱を掲げ、行財政改革に取り組んでいくとの説明がありました。

議員協議会

議員協議会 (2月13日)

名取市組織機構の見直し(案)について

令和2年度を開始年度とする第六次長期総合計画の具現化や、震災復興業務が縮小となることから、市の組織機構を見直し、令和2年4月1日から新たな体制で行政運営を行うとの説明がありました。

現在の総務部を改編し、新たに企画部を設けること、震災復興部を廃止し、事務を整理して移管することなどが示されました。

また、組織機構の見直しに合わせて、事務室の配置を変更するとの説明がありました。

# 2月定例会 議案審議

## 名取市の

## こんなことが決まりました

2月定例会 会期 2月21日～3月23日

### 2月定例会の議案は 市長提出議案

条例	9件
新年度予算	10件
補正予算	10件
議決案	9件
同意	1件
議員提出議案	1件
条例	1件
<b>計40件</b>	

提出された議案の概要は、市議会ホームページの「議案の概要と審議結果」をご覧ください。



〔議案第17号〕 名取市児童厚生施設条例

### Pick up 1

閑上児童センターを再建し、  
閑上チビッコ丸児童遊園を  
新たに整備します

東日本大震災により被災した閑上児童センターの再建と、被災した閑上児童遊園及び閑上つるづか児童遊園を集約する形で、閑上チビッコ丸児童遊園を新設するため、必要な改正を行うものです。

こんな質疑がありました

#### Q チビッコ丸について

Q 移設するチビッコ丸の現状と老朽化対策は。

A 震災後に修繕しており、その状態で移設し、周りを囲って展示する。老朽化対策は考えていないが、PTAの方に清掃の協力をもらっている。

Q 以前のように遊具として利用しないとのことだが、安全対策は。

A 高さ1.2メートルの柵で囲み、中には入れないようにする。





## Pick up 2

歳入歳出予算の見直しにより、  
1億5844万円が  
減額補正されました

こんな質疑がありました

プレミアム付商品券事業について

**AQ** 事業費減額の理由は、消費税増税に伴う対応策で、住民税非課税の方などを対象としたが、購入する方が少なかったため。

**Q** 販売数の当初の見込みと実績は。また、商品券はどのくらい使用されたか。

**A** 対象者1万2700人、500円が10枚で50000円分を1冊として、6万3500冊の販売を見込んだ。2月末現在の販売数は、2万1139冊。8999万9500円分が換金され、約85割が使用されている。

防犯カメラ設置事業補助金について

**AQ** 減額の理由は、令和元年度から取り組んだ事業で、当初5団体、1台30万円で最大2台を見込んだが、実績は3団体から各1台の申請だったため。

**Q** 申請はしたが、設置に至らなかった事例はあるか。

**A** 申請された3団体は全て設置済みである。

## Pick up 3

東日本大震災の津波で家族が犠牲となった遺族が、市に損害賠償を求めた訴訟は、和解が成立します

東日本大震災の津波により家族4人が死亡・行方不明になったことは、市の防災行政無線の故障などが原因だとして、遺族が市に損害賠償を求め控訴していた件に対し、仙台高等裁判所より提示された和解案について審議を行いました。

こんな質疑がありました

**Q** 和解案の内容を踏まえ、今後の防災・減災の取り組みに対する市長の決意は。

**A** 防災行政無線が肝心なときに機能を果たさなかったことは大変遺憾である。今後も震災の犠牲者の無念の気持ちを受けとめ、被災者の気持ちに寄り添いながら、東日本大震災の記憶と教訓

をしっかりと後世に伝えていきたい。そのためにさまざまな手段を講じながら、安心安全なまちづくりを進めていきたい。

# 令和2年度 予算審査

## 税金の使い道を

## チェックしました

一般会計・特別会計・企業会計予算総額

# 537億1,765万円

市長から提出された令和2年度予算について、財務常任委員会において審査を行いました。  
財務常任委員会では、一般会計歳入・一般会計歳出・特別会計・企業会計の全てを全体会で審査しました。

財務常任委員会の内容は、録画でも配信しています。市ホームページの「議会中継」からご覧ください。



### 一般会計 歳入

## 市税は8年連続の増収が見込まれています

名取市第六次長期総合計画の初年度として、子育て支援の充実や市民との協働、新たなまちづくり、交流人口の拡大に向けた取り組みなどの施策が盛り込まれています。

各事業の内容や算定根拠など、さまざまな角度から審査が行われました。

市税は、個人市民税や固定資産税等の伸び等に伴い、8年連続の増収となり、前年度比1.7%、約2億円の増、地方消費税交付金も、消費税率の見直しにより、前年度比19.3%、2億7,000万円の増が見込まれています。また、復興事業の進展により、震災復興特別交付税が大きく減になるとの説明がありました。



## 予算審査のスケジュール

日にち	内容
3月9日(月)	本会議(総括質疑) 財務常任委員会(一般会計補足説明)
10日(火)	一般会計歳入
12日(木)	一般会計歳出①(議会費～衛生費)
16日(月)	一般会計歳出②(労働費～土木費)
17日(火)	一般会計歳出③(消防費～予備費)
18日(水)	特別会計・企業会計
23日(月)	本会議(採決)

一般会計  
歳出 ②

## 市内の2カ所の交差点に 防護柵を設置します

農林水産業費では、仙台せりの新規就農者に、100万円を上限に補助を行うと説明がありました。また、水産業振興事業補助金を増額し、閑上の漁業者が実施するワカメの養殖事業を支援していくとの説明がありました。

商工費では、サイクルスポーツセンターを指定管理者制度により運営し、開業に向けて宿泊等の予約システムを導入して、6月ごろからの受け付け開始を目指すとの説明がありました。

土木費では、交通安全対策として、歩行者の安全確保のため、市内2カ所の交差点内に防護柵を設置するとの説明がありました。



一般会計  
歳出 ①

## 骨髄バンクドナー助成 事業が始まります

総務費では、空き家対策として町内会に依頼して市内全体の状況を調査し、不動産業者や金融機関に助言をもらい進めていくとの説明がありました。また、仙台法務局名取出張所2階と3階を、教育委員会の事務室として恒久的に借り受けるとの説明がありました。

民生費では、身体障害者訪問入浴サービス事業で、入浴回数をふやすほか、閑上地区に開業する商業施設に障害者就労支援施設の物販を常設するため、必要な備品を整備するとの説明がありました。

衛生費では、骨髄を提供するドナーに対し、最大7日間で1日2万円を補助するとの説明がありました。



特別会計  
企業会計

## 愛島台地区の新たな 造成に取り組みます

国民健康保険特別会計では、令和2年度にマイナンバーカードが健康保険証として使用できる予定であることから、対応するために必要なシステム改修を行うとの説明がありました。

土地取得特別会計では、愛島台地区の造成に向けた測量や地質調査等を行い、基本計画を策定するための費用として、宅地造成事業特別会計に繰出金を措置するとの説明がありました。

水道事業会計では、非常時の対応として高館浄水場に自家発電装置やUPS(無停電電源装置)を設置していること、災害を想定した職員の訓練等は難しく、実務を通じて能力の向上を図っていくとの説明がありました。



航空写真(国土地理院)(令和元年4月28日撮影)

一般会計  
歳出 ③

## 名取駅東口に「防火貯水 槽」が設置予定です

消防費では、名取駅東口駅前広場の歩道に40ℓの防火貯水槽1基の設置を計画しているほか、指定避難所などの情報を記載した防災タウンページを作成し、令和2年9月に全戸配布するとの説明がありました。

教育費では、教員の働き方改革の取り組みとして、小中学校で留守番機能付き電話の運用を開始するほか、学校施設長寿命化計画を策定し、校舎や体育館などの適切な施設管理を進めるとの説明がありました。

また、新しく開館する名取市歴史民俗資料館の運営や旧中沢家住宅の屋根のふきかえ工事など、文化振興に係る取り組みについて説明がありました。





# 令和2年度の取り組みを聞きました

## 総括質疑 2

会派名 創政会

丹野 政喜 議員

### 支援相談員の確保と質の向上は

**Q** 従来の障害種別に捉われることなく、ワ  
ンストップで相談支援業務ができる基幹相  
談支援センターの設置は、利用者の期待も  
大きい。支援相談員の確保と質の向上にど  
う取り組むのか。

**A** 基幹相談支援センターは、精神保健福祉  
士等の資格を有する者2人及び事務員1人  
の3人体制で運営し、本人や家族の相談に  
応じるとともに、相談支援事業所間の調  
整や支援を行い、地域の障害福祉に関する  
相談支援の中核的な役割を担う機関となる。  
今後、既存の相談支援事業所等と役割分担  
や連携方法について整理を重ね、本市の実  
情に対応できるよう取り組んでいく。

## 総括質疑 1

会派名 なとりグローバルネット未来

及川 秀一 議員

### 地域公共交通や災害備蓄品の取り組みは

**Q** 暮らしに欠かせない公共交通インフラの  
状況は。

**A** なとりん号は、平成30年4月1日付で大  
幅な見直しを行った。令和4年度までの5  
年契約で、幹線路線6路線、生活路線6路  
線を運行している。

令和元年11月より閑上線を増便し、令和  
2年度は愛島線の増便を予定するなど、利  
便性向上と拡充に努める。

**Q** 災害備蓄品整備事業の内容と取り組みは。

**A** 「名取市災害用備蓄食料・飲料水の備蓄  
計画」に基づき、想定最大避難者数1万1  
000人の3日分、食料6万6000食、  
飲料水55000ℓを3力年で備蓄するため、  
初年度の事業として取り組んでいく。

## 総括質疑 4

会派名 日本共産党議員団

齋 浩美 議員

### 消費税増税などによる影響はあるのか

**Q** 消費税増税と、新型コロナウイルス感染  
症による経済の落ち込みからくる市税の減  
少等を、どう捉えているか。

**A** 消費の落ち込みなど、経済活動の縮小が  
懸念される中で予算を作成した。法人市民  
税は、税制改正もあり、税率引き下げによ  
る減収分も見込んでいく。

**Q** 会計年度任用職員制度が始まるが、報酬  
や給料を削減することなく期末手当は支給  
されるのか。

**A** 月額報酬を削減することなく、期末手当  
を新たに支給すべく予算措置している。

**Q** 乗り合いタクシーの導入について取り組みは  
さまざま。公共交通体系の調査検討を行  
い、事業費も考慮しながら判断したい。

## 総括質疑 3

会派名 公明名取

菊地 忍 議員

### マイナンバーカード普及の取り組みは

**Q** 令和2年度よりマイナンバーカードを活  
用した消費活性化策「マイナポイント」が  
実施される。この事業は、物品の購入等に  
対し国が「マイナポイント」を付与するも  
のである。また令和3年3月からはマイナ  
ンバーカードを健康保険証として使えるよ  
うになる。マイナンバーカード普及にどの  
ように取り組むのか。

**A** 令和2年4月から交付率を上げるため、  
申請時に市役所窓口で手続を行い、本人限  
定受取郵便で後日カードが郵送される「申  
請時来庁方式」を新たに加える。また、公  
民館やイベント会場等で出張申請受付が実  
施できるよう環境整備に取り組み、申請の  
サポートを行う。

## 総括質疑 6

会派名 名和会

大友 康信 議員

### 学校給食費の段階的無償化の見通しは

**A Q**

具体的な施策はどのように進めるのか。  
検討会議を立ち上げ、振興に向けた施策を取りまとめていく。

**A** 中小企業・小規模企業振興条例に基づく

**Q** 学校給食費の段階的無償化について、将来にわたり事業を継続するための財源見通しをどのように考えているのか。  
**A** 中学3年生を対象とした学校給食費無償化の充当財源については、幼児教育・保育の無償化による財源及びスクールバスの契約方法の見直しによる財源の一部を活用することで継続できる。また、次の段階に進むには、新たに安定的な財源の確保が必要であるが、現時点では未定である。

## 総括質疑 5

会派名 青雲倶楽部

熊谷 克彦 議員

### 小売業者の経営基盤強化の支援は

**A Q**

**A** 学校施設長寿命化計画は、建物の寿命を延ばすための中長期にわたる改修計画である。地域・PTA・関係者等の意見を把握して策定する。

**Q** 学校施設長寿命化計画の策定に当たり、地域・PTA・関係者等から意見を聞くか伺う。  
**A** 条例では、事業者等の創意工夫と自主的な努力を、名取市、名取市商工会、金融機関、市民等が一体となって支援することとしている。経営基盤の強化、販路の開拓等、商工会と連携しながら取り組んでいく。

**A** 中小企業・小規模企業振興条例に基づく小売業者に対する経営基盤の強化支援方法、販売方法の支援等について伺う。  
**Q** 条例では、事業者等の創意工夫と自主的な努力を、名取市、名取市商工会、金融機関、市民等が一体となって支援することとしている。経営基盤の強化、販路の開拓等、商工会と連携しながら取り組んでいく。

## 令和2年度予算審査 討 論

# このような理由で、賛成しました

### 賛成

荒川 洋平 議員

(一般会計)

学校給食費の段階的無償化を中学3年生から導入するとしている。

- ①今後の財源の確保の見通しが全く示されていない。
- ②子ども医療費助成の対象年齢を高校3年生まで引き上げることや、増加傾向にある不登校児童生徒のさらなるケアなど、教育環境の整備が先である。
- ③苦しくても税金を納めている子供を持たない人の税金で、お金に困っていない家庭の子供の給食費を賄うことで、行政の行う「所得の再配分」がゆがんでいく。この3つの問題を指摘する。

また、学校施設長寿命化計画を策定し、施設改修に生かしていくよう望む。

### 賛成

山田 龍太郎 議員

(一般会計)

令和2年度は、名取市第六次長期総合計画の初年度で、目指す将来像「愛されるふるさと なとり～共に創る 未来へつなぐ～」の実現に向け、できる限りの施策を盛り込んだとのことである。今後とも、異なる意見、声なき声等にも耳を傾け、「共に創る」の精神で取り組むよう要望する。また、子育て・教育先進都市の実現に向け、新たに中学3年生を対象に学校給食費の無償化を行うが、多くの市民は、中学3年生が抱えている希望がかなえられるよう願っている。無償化は、生徒の希望をかなえる経済的な支援や生徒の励みにもなる。保護者等に丁寧に説明するよう要望する。

## このような理由で、賛成しました

### 賛成

吉田 良 議員  
(一般会計)

市民墓地の新規契約数の見込みは80基との説明があった。申し込み数によっては、速やかに合葬墓の設置を決定すべきである。

新年度、区長の身分が特別職非常勤職員から私人に変わり、一部の業務が外され、謝礼月額が3万3,000円となる。平成22年度の見直し案は、業務の変更は今回と一致するところが多かったが、報酬月額は5,000円であった。制度変更後、受け取る額がふえる区長は、46名が見込まれるとのことである。さらなる見直しが必要である。

デマンド型乗り合いタクシーの導入可能性を含む総合交通体系調査、名取駅西口へのシェルター設置などを評価する。

### 賛成

小野寺 美穂 議員  
(一般会計)

歳入の根幹をなす法人市民税では、税率変更にもかかわる従業員数減の要因や実態把握に努めるべき。

ふるさと納税は、寄附であり、過度の期待は禁物ではないか。

歳出全体では、大幅な組織見直しが、職員の負担増や業務に支障を来さぬように望むものである。

総合交通体系調査検討委託料では、なとりん号の増便や路線見直し、新しい公共交通など市民の要望に応えられることを期待する。

障害者訪問入浴サービスの回数増は評価する。

区長制度の変更や公民館長の正職員化など、地域密着の課題については丁寧な対応を求める。

### 賛成

菊地 忍 議員  
(一般会計)

歳入では、新型コロナウイルス感染症の影響により先行きが見えないところである。自主財源の確保のため、ふるさと納税には一層力を入れて取り組む必要がある。

歳出では、子宮がん検診において30歳代の罹患率が高いことから、新たに30歳、35歳へ受診勧奨を行うことは評価する。また定期予防接種再接種助成事業は、医療費に加え、予防接種を再度受けることによる経済的負担の軽減につながるものとして評価する。

学校給食費の段階的無償化は、条例を制定すべきではあるが、子育て・教育先進都市の実現に向けた取り組みとして評価する。

### 賛成

大久保 主計 議員  
(一般会計)

新たに計上された学校給食費無償化の予算については不透明な点が多い。

学校給食運営審議会に諮問せず、議決が必要な条例化を避け、執行部内部による規則改正で対応、計画性のない段階的という言葉で市民に期待を持たせている。さらに、学校給食費補助金は補助金等検討委員会で審議せず予算計上となった。厳しい財政状況の中で、市長公約の給食費無償化に多額のお金を使えば、今取り組むべき課題は後回しとなり、いつまでも解決できない。そのツケは、次の世代にさらなる負担を強いることになる。未来の子供たちに負の遺産を残さない行財政運営に取り組むことを望む。



審議結果

▶ 賛否が分かれたもの

※ ○は賛成、×は反対

会議名	提出者	議案番号	件名	審議結果	議員名（議席番号順）																
					菊地昌夫	熊谷克彦	笹森波	千葉栄幸	板橋美保	大泉徳子	大久保主計	齋浩美	菅原和子	吉田良	荒川洋平	大友康信	佐々木哲男	及川秀一	菊地忍	小野寺美穂	郷内良治
第2回定例会	市長 議員				今期定例会では、賛否が分かれた議案はありませんでした。																

※地方自治法第116条の規定により、議長は表決に加わっておりません。

今期定例会において全会一致で可決した議案を含む、審議結果の一覧は、市議会ホームページの「議案の概要と審議結果」をごらんください。



No.1

人事案件に同意しました

今期定例会には、2カ件の人事案件が提案されました。

◎固定資産評価審査委員会委員

（2月21日上程・同日原案同意）

佐々木 康男氏

◎人権擁護委員候補者

（2月21日上程・同日原案可決）

高橋 健一氏（名取が丘）

No.2

選挙管理委員・補充員の選挙を行いました

選挙管理委員及び補充員の選挙は、議長の指名推薦により、次の通り決定しました。

◎選挙管理委員

渋谷 俊郎氏（愛の杜）

浅野 寿夫氏（閑上）

高橋 壽子氏（増田西）

大友 修氏（美田園）

◎選挙管理委員補充員

赤澤 真氏（名取が丘）

渡邊 俊治氏（館腰）

沼邊 茂信氏（ゆりが丘）

大内 明氏（増田）

# N WATCH

エヌ・ウォッチ

令和2年2月定例会から、1月の改選を経て新たな顔ぶれとなったの定例会となりました。







議長 長南 良彦  
副議長 佐藤 正博

このたび、2月3日に開催された臨時会において、私たちが議長並びに副議長に選任されました。

さきの市議会議員選挙は、残念ながら過去最低の投票率となりました。この事実を重く受けとめ、市民に信頼される開かれた議会運営に努めてまいります。

本市は、将来に向けた新たなまちづくりが始まります。議会としても、震災復興を始めとしたさまざまな課題の解決に向け一丸となって、地域の皆さんとともに取り組んでまいります。一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

<h3>令和2年6月定例会は、 6月4日(木) 開会予定です。</h3>	<h3>議会を読もう</h3> <p>名取市議会だよりは、2月、5月、8月、11月に発行しています。バックナンバーは、ホームページでもごらんいただけます。</p> 	<h3>議会を傍聴しよう</h3> <p>会議はどなたでも傍聴することができます。会議の日程は、市議会ホームページでご確認いただくか、議会事務局(022-384-2109)へお問い合わせください。</p> 
<h3>会議録を読もう</h3> <p>本会議及び財務常任委員会の会議録をインターネットで公開しています。詳細な議論の内容の確認に、ぜひご利用ください。</p> 	<h3>議会を動画で見よう</h3> <p>本会議の様様をインターネットで中継(生中継・録画中継)しています。ぜひご利用ください。</p> <p>※スマートフォンやタブレット端末での視聴にも対応しています。</p> 	<h3>議会に参加しよう</h3> <p>議会に対して陳情等を提出することができます。陳情とは、特定の事項について議会などに実情を訴え、適切な措置を要望することです。</p>

## 編集後記

委員長

齋 浩美

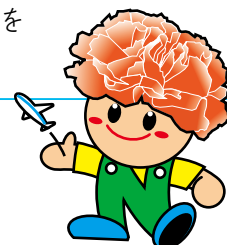
1月の改選を経て、初めての定例会となりました。

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、会期の途中で一般市政報告(東日本大震災追悼式の縮小、小中学校の臨時休業)があったほか、傍聴の皆様へ予防のためのお願いをいたしました。

今定例会は、主に令和2年度予算につ

いて審議しました。復興達成宣言後の被災者支援や、近年頻発する災害への取り組み、公共交通のあり方など、さまざまな内容について活発な議論となりました。

議会・議員は、市民の皆様の声を聞きながら、各種事業の進捗や効果を確認し、市当局に対し意見や提言を行ってまいります。



名取市議会の情報はこちらから

名取市議会

検索

